

社会福祉法人純正福祉会 青葉桐の花保育園 29年度事業報告書

1. 保育実績 (延べ人数)

	計画	実績	増減
保育日数	295日	295日	—
平均保育人数	180名	196名	16名
利用児童総数	53,100名	57,820名	4720名
対定員充足率	100%	109%	9%
延長保育人数	9,000名	7,443名	△1,557名
日々延長保育人数	676名	417名	△259名
一時保育数	220名	86名	△134名
公開保育利用者人数		216名	

○平成29年度保育状況(月数の延べ人数)

年齢 /月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0歳児	11	11	12	13	17	19	20	20	20	20	21	22	206
1歳児	24	24	24	24	24	25	25	24	24	24	24	23	289
2歳児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	31	361
3歳児	41	42	42	41	42	42	42	41	41	41	41	41	497
4歳児	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504
5歳児	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504
合計	190	191	192	192	197	200	201	199	199	199	200	201	2,361

2. 保育内容について

(1) 生活を中心とした一人一人の育ちを大切にしています。

長い保育時間のなかにあつて、子どもが不安やストレスを抱えることなく、子どもの表情や行為、声の調子、思いなど未熟な表現に保育者は応え、寄り添いながら「子どもは一人の尊重すべき人格者」として、子どもなりに自分を発達させようとする力と可能性を引き出すように援助しています。

そのために、保育の方法として、特定の保育士の愛情深いかかわりが基本的な信頼関係形成を促すということに基づき、また、保育者も一人一人の子どもをより理解できるように3歳未満児は、保育者の担当制を取り入れています。

3歳以上児は、3歳・4歳・5歳児の異年齢保育を取り入れている。これは、クラスを大きな家族としてとらえ、子ども自身が刺激し合つて、仲間を尊敬したり、思いやったりすることや大きな子は小さな子を助けることによって自信が湧き意欲へとつながり、小さい子は大きな子のすることを模倣したり、身近な人から教えてもらうことによって早く大きくなりたいという努力、意欲をもつようになるといった効果を考慮しているからです。

このような日々の取り組みのなかで、家庭を含めた24時間の日課を考慮し、ていねいに育児にかかわり、安定した生活を促すようにしています。

(2) 本物に出会い、触れることを通して多様な経験をし、成長、発達を促しています。

風、水、土、雨、植物、絵画、音楽など本物に触れ、五感を使って様々な体験をしながら運動機能の発達や知的好奇心、思考力、認識力、創造性を育てています。また、様々な体験のなかで、子どもの成長に重要な達成感、挫折感、葛藤、充足感などの感情を味わえるようにしています。

- ◆具体的事例
- ①食器は陶器を使用し、食材はより自然食品、おやつは手作りにしている。
 - ②見る環境として油絵、版画、童の銅像などを園内に配置している。また、年長組は美術鑑賞として美術館や博物館などを見学する。
 - ③『環境教育』として、〈子どもから親への発信〉をテーマに自然事象・社会事象などを観察し、知る楽しさを学ぶことや清掃活動などの体験を通じて、家庭での話題となり身近な地域の環境美化に関心を持たせ、豊かな心情を持つ子どもの育成を図っている。

(3) 『応答的保育』を実践し、子どもが自ら考え、行動できるように援助しています。

『応答的保育』とは、子どもの発達観を心理学者J・ピアジェやJ・M・ハントの流れをくむ人間発達の相互作用説である認知発達心理学に基づくものであります。これは、子どもは人間を含む環境とのやりとりで成長・発達するという考えを基盤にし、人間は、もちろん子どもを含めて、外から賞や罰を与えられなくとも、自分のもっている能力や発達

のレベルより「少し程度の高い」あるいは「少し複雑な」環境や刺激に接するとき、自ら興味を持って行動するというものである。

つまり、『応答的保育』、子どもの教育、子どもの保育において環境からの応答性を重視する保育です。その保育は、子どもの遊びのなかで、おもちゃや物の応答性をどう考え、準備するか、また、保育士や保護者が「ことばによる応答」でどう対応するか、さらには、「心の応答」によって共感的な心情をどうつくりだしていくかといったことから構成されています。

『応答的保育』を行うことによって、子どもは言葉をはじめとした知的な能力、自発性、意欲、他者への信頼感が培われていくことを目的としています。

- ◆具体的事例 ①子どもが主体的に生きること。一人一人がやりたい活動に指示や命令など条件づけられた生活ではなく、十分に子どもが自己発揮して主体的に取り組むことができる。
- ②適切なズレをもった物理的環境の準備
- ③遊びなどの活動に必要なものがいつも一定のところに置いてあり、繰り返し出来る。
- ④人的環境のなかで大きな役割を果たす異年齢保育の実施。
- ⑤保育者が目立たない。

3. 園行事等について

○別紙参照 《青葉桐の花保育園 平成29年度事業報告》

4. 施設整備について

- 修繕
 - ・空調機清掃他修繕
 - ・ピアノクリーニング及び傷修理
- 整備
 - ・厨房機器改修工事
 - ・園庭内法面改修工事
 - ・保育室内装改修工事
 - ・厨房幹線引替工事
- 固定資産物品
 - 事務室
 - 給食室
 - 1・2歳児保育室横
 - 3・4・5歳児保育室
 - ホール
 - ノートパソコン (2台)
 - IHコンロ
 - 防犯カメラ
 - ジアイーノ
 - ワイヤレスアンプ
- ソフトウェア
 - 給与計算ソフト「わんぱくランチ」

5. 平成29年度 苦情解決結果について

※ 特に苦情・要望は、ありませんでした。

6. その他

(1) 安全管理

- 防災訓練 毎月1回避難訓練、年1回消火、通報訓練を実施しました。
(近隣火災の想定も含む避難訓練の実施済)
- 健康管理 園児・職員の定期診断及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。
健康管理には最善の注意を払い、伝染病については最善の処置を行ってきました。
- 衛生管理 危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行いました。

(2) 地域交流

- ・ 中原地区の夏祭り 参加
- ・ 博多南駅祭りどんたく 参加
- ・ 敬老週間に園児の祖父母の交流会として今年も実施しました。 約90名
- ・ 地域公開保育を毎月10、20日に行い、地域交流を行いました。
総参加人数 延 216名 (保護者含む)
- ・ どんど焼き 那珂川町保育所連盟

(3) 実習生・ボランティア

- ・ 大学の受入校(5校) 24名
- ・ 専門学校の受入校(2校) 2名
- ・ 高校の受入校(1校) 14名
- ・ 中学職場体験学習(1校) 5名
- ・ 那珂川町ファミリーサポート 2名
- ・ 他保育園より見学、実習 18名
- ・ ボランティア
絵本読み聞かせ(毎月1回)、じゃがいも掘り

青葉桐の花保育園 平成29年度 事業報告

- 4月 5日 第14回 入園のつどい
- 5月 14日 なかがわどんたく参加（5歳児）
17日 親子バス遠足（3歳児・4歳児・5歳児） 海の中道海浜公園
- 6月 1日 内科検診（かく小児科より）
2日・7日・8日・9日・13日・14日
保育参観・クラス懇談会
9日 じゃがいも掘り（5歳児）
理事 井上敏明氏・坂口義弘氏により
15日 歯科検診（森歯科より）
21日 梅の塩漬け（3歳児・4歳児・5歳児）
- 7月 11日 歯科指導
20日 梅のシソ漬け（3歳児・4歳児・5歳児）
- 8月 5日 中原地区夏祭り参加
9日 指導監査
- 9月 12日 敬老のお楽しみ会（約90名参加）
- 10月 7日 第14回 運動会
5日 歯科指導 保険センターより
19日 歯科検診（森歯科より）
ひまわり交流会（5歳児・安徳公園）
31日 内科検診（かく小児科より）
- 11月 7日・8日・9日・10日 保育参観
21日 新幹線車輛基地見学（5歳児）
- 12月 16日 つどいあおば会
19日 クリスマス会
- 1月 6日 どんど焼き・もぐら打ち
27日 那珂川町音楽祭出演（5歳児）
- 2月 2日 豆まき会
10日 在園児入園説明会

- 3月 8日 卒園遠足（5歳児） 太宰府天満宮・九州国立博物館
10日 新入園児説明会
17日 第14回卒園式
18日 四園合同研修会（西鉄グランドホテル）
20日 音楽会～琴とお話～（柴田歌秀氏より）
22日 ひまわり交流会（5歳児・青葉保育園にて環境講話「五ヶ山ダム」）
五ヶ山ダム建設事務所 技術主査 近藤祐介氏より

平成29年度 社会福祉法人純正福祉園内研修

青葉桐の花保育園

研修名・日時・会場	参加者数	課題もしくは内容	講師
乳児園内研修 29年4月27日 青葉はるまち保育園	2名	・子どもの日課とクラスの日課 ・育児における大人の連携	中島侑子
乳児園内研修 29年5月25日 青葉保育園	2名	・新人保育士に一番伝えたいことは ・相手の立場にどれくらい立てるか	中島侑子
乳児園内研修 29年5月30日 青葉桐の花保育園	15名	・三項関係 ・子どもが泣く理由 ・子どもの遊びに対する大人の関わり	中島侑子
幼児公開保育 29年5月31日 大和保育所	2名	・基本的な生活習慣や丁寧な振る舞いを身に付ける ・植物や昆虫の飼育を通して、生命の大切さを感じる ・鉄棒や平均台を使い、支持力や平衡感覚を養う	
乳児わらべうた研修 29年6月7日 青葉桐の花保育園	11名	・実技研修 「おんまさんのおけいこ」「こーぶろ」 「ぎっこばっこひげば」「ととけっこー」	児玉敦子
乳児園内研修 29年6月20日 大和保育所	2名	・子どもの発達にあった遊び ・子どもが集中して遊べる環境	中島侑子
幼児わらべうた研修 29年6月21日 青葉桐の花保育園	7名	・実技研修 「すいかばたけに」「いもむし」 「ゆうびんはいたつ」「いちばちとまった」	児玉敦子
乳児園内研修 29年7月6日 青葉はるまち保育園	2名	・子どもの行為や仕草言葉に注意し肯定的に関わる ・姿勢維持、転換などの筋力に発達を促す	中島侑子
幼児公開保育 29年7月12日 青葉保育園	1名	・衣服の着脱について知らせ、丁寧に出来るようにする ・静寂な雰囲気を感じながら線上歩行を行う	
幼児公開保育 29年7月24日 青葉はるまち保育園	1名	・水の性質を生かした遊びを通して、水に触れ水を感じて楽しむ	
乳児園内研修 29年8月24日 青葉桐の花保育園	16名	・各クラスリーダーの観察と分析 ・気になる子どもへの関わり	
幼児公開保育 29年8月31日 青葉桐の花保育園	6名	・ドアの開閉の仕方を知り、丁寧に出来るようにする ・絵具を使って表現することを楽しむ ・汗をかいた時の対処法を考え、健康な体をつくる	
乳児園内研修 29年9月13日 大和保育所	2名	・子どもの遊びの条件(環境・時間・道具)について ・大人の連携	中島侑子
乳児園内研修 29年9月21日 青葉保育園	3名	・未経験保育士に対するアプローチの方法 ・客観点条件の準備について	中島侑子
乳児わらべうた研修 29年11月1日 青葉桐の花保育園	10名	・実技研修 「しろきやの」「おさらになまごに」 「うしめばんそれぞれ」「ひつとりふったり」	児玉敦子
幼児公開保育 29年11月8日 大和保育所	0名	・世界の文化に興味を持つ(民族衣装について) ・動きの一つ一つを丁寧にし、落ち着いた気持ちで生活する	
幼児わらべうた研修 29年11月15日 青葉桐の花保育園	6名	・実技研修 「こーもりこい」「ほおずきばあさん」 「りょうしさん」「ねこがごふくやに」	児玉敦子
乳児園内研修 29年11月22日 青葉桐の花保育園	10名	・三項関係(大人と子どもと物又は大人) ・観察の視点と分析	中島侑子
乳児園内研修 30年1月18日 青葉保育園	2名	・子どもを主人公にした援助 ・仲間関係の形成の段階	中島侑子
乳児園内研修 30年1月25日 大和保育所	2名	遊びの観察(子どもの遊びの主体性) 育児の観察(子どもの能動性)	中島侑子
幼児公開保育 30年1月30日 青葉保育園	1名	・資源の大切さやごみの減量について考える ・私達が住んでいる那珂川町について知り、暮らしている土地に親しみが 持てるようにする。	
乳児園内研修 30年2月13日 青葉桐の花保育園	17名	・待つ時と手を差し伸べる時を考える	中島侑子
幼児公開保育 30年2月15日 青葉はるまち保育園	1名	・食材に含まれている栄養について知り、食への関心を高める	
乳児園内研修 30年2月16日 青葉はるまち保育園	2名	・一人一人が大切に育てられるために	中島侑子
幼児公開保育 30年2月22日 青葉桐の花保育園	6名	・園庭にある木々の冬芽に興味を持つ ・福岡県の位置や特産品、建物について知る ・平昌五輪について知り、関心を高める	
四園合同研修 30年3月18日 ソラリア西鉄ホテル	31名	・「学びを支える環境づくり」 ・「言葉をはっきり口にする:保育の安全と核」	高山静子 掛札逸美

※園長・主任・中堅保育士勉強会を年4回行っている。